

きずなの郷

第72号
2023 秋

発行 社会福祉法人 厚生協会

令和5年9月1日

厚生協会70周年記念事業

〜きずなの森の整備〜

6月21日、70周年記念植樹を行いました。場所は、西十勝森林組合の仲介で新得町屈足西2線67番地2の用地を購入しました。

記念植樹は理事長をはじめ法人役員、家族会の方々や利用者さん、職員の23名で行いました。植樹にあたり田中理事長より法人の成り立ちや植樹への思い、SDGsへの

取り組みについての話がありました。

木を消費するだけでなく、資源を代々残していく、植樹した木々（ヤマザクラ・ミズナラ）1600本が10年後、20年後に森となり、花を咲かせ、山々を色づかせる、そのような景色になるのを心待ちにしたいと思えます。



▲10年後の風景を心待ちにして



▲田中理事長も自らスコップを入れます



▲利用者さんも楽しみながら植樹されました



▲350発の花火は大迫力でした



▲間近で見る花火は最高！

8月2日、日中の暑さが残る中、70周年記念花火大会を開催しました。法人設立70周年を記念し例年よりも打ち上げ数を増して約350発の花火を夜空に打ち上げました。澄み渡った空への花火は輝きを放ち、利用者さんや職員、町民の皆さんの心にも残る記念花火となりました。

〜70周年記念花火〜

令和4年度 法人本部及び各施設・事業所の事業報告

■法人本部

令和4年度は、事業の根幹を担う職員の採用活動が年々厳しさを増す中であって、以前より検討事項であった外国人介護人材の採用について、「外国人介護人材受入れ検討委員会」を立ち上げ、外国人材とのWeb交流会や研修会などを通して理解を深め、協議を重ねた結果、人材紹介と支援を担う、登録支援機関(ONODERA USER RUN)と契約締結を行った。9月にオンライン面接を実施し、令和5年度より地域密着型特養新得やすらぎ荘2名、屈足わかふじ園2名、計4名の外国人介護人材を採用する事とした。

働き方改革への対応としては、2022年10月から社会保険の加入条件が拡大されたことに伴い、短時間パート職員の働き方について、一柳社会保険労務士からのご意見を頂きながら対応方法について検討を行い実施した。

給与体系については、嘱託職員の給与、役職定年制、施設長の給与について、他法人の状況等も参考に検討を行った。

新型コロナウイルスに係る対策については、引き続き、厚労省からの通知に沿って感染予防の徹底、感染経路の遮断の観点から面会の自粛要請などの対応を行った。

法人の施設整備等の事業については、昭和53年に建設した職員住宅を老朽化のため取り壊しを行った。

このような状況の中、法人全体で経費削減に取り組むと共に、利用者サービスの向上と運営の安定に向け事業計画に基づき以下の事業を実施した。

理事会開催(5回)、監事監査(4回)、評議員会開催(2回)、顧問契約(松浦弁護士)、監査契約(富士道公認会計士)、事業活動支援業務準委任契約(大泉中小企業診断士、一柳社会保険労務士)、本部各専門委員会(管理部、施設・在宅事業部、研修部)、地域における公益的な取組

■わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

利用者への支援については、個別支援計画に基づき定期的なモニタリングで支援内容の見直しを行った。

利用者の高齢化や障害の重度化への対応については、ケース会議などで作業面、生活面における情報の共有を図り、支援内容を検討し支援を行った。

定員充足に向けた取り組みについては、相談支援事業所等から利用希望者の情報収集や、高等支援学校等と連携を図り、実習の受け入れを行った。又パンフレット等のDMを道内の相談支援事業所や高等支援学校宛てに送付し、新規利用者の情報収集に努めた。

新得高等支援学校との連携については、年間を通して現場実習、校外作業学習の受け入れを行った。又木育推進事業の誕生祝い品贈呈でも連携を図った。

新型コロナウイルス感染対策については、基本的な感染対策を遵守し感染予防に努めた。

施設整備については萬田記念財団の助成金を主財源とし、軽作業棟の玄関の拡張工事を行った。

①介護・生活支援部門

高齢化による利用者の身体・精神状況の変化を確認し、支援体制の変更について検討を行った。

②看護部門

コロナ感染症の対応については法人の決定事項に基づき対策を行った。職員の感染者が8月にあり利用者との接触を含め感染経路の確認と検査で陰性確認を行った。9月の利用者の感染については直ちにゾーニング及び感染者に対する対応を実施し、感染拡大を抑えた。3月には国の指針でマスクの着用義務が任意になるなど感染対策については変更点も見られたが、法人では次年度の5月8日の変更時期まで感染予防対策については変更なく実施した。

③授産事業部門

今年度もコロナ禍において目標額に届かなかった部門もあったが、事業全体の目標額を達成することはできた。

利用者の高齢化・重度化に対する作業内容の検討する取り組みについては、利用者個々の作業能力にあった作業配置(ウエス作業への転換)や作業環境等の変更を行なうことは出来た。

今後も安定した生産に繋がる作業内容や工程等の見直しと事業全体の連携に努めると共に、状況に合わせた各事業における職員・利用者の配置見直しに取り組んでいく。

■わかふじ寮相談支援事業所

コロナ禍により対面での面会は自粛し、事業所よりご本人の状況などの情報収集を行い、ご本人の意向や希望、要望を確認しながら必要と思われる事柄について助言を行った。

又サービス等利用計画書の作成については利用者の状況や事業所での支援状況を基に見直しを行った。

■共同生活援助事業所 さくら

利用者への支援については、個別支援計画に基づき地域で落ち着いて生活ができる様に、「地域生活上のルール」や身の周りの事など自立した生活を送る事ができる様に支援を行った。食生活については家庭的で偏りのない食事を提供する事を基本とし、利用者の嗜好や季節に合った献立で提供できる様に対応した。

新型コロナウイルス感染対策については、マスクの着用や手指消毒など基本的な対応の徹底を図った。

■新得白生舎

社会福祉法による授産施設として利用者一人ひとりの能力に応じた作業が行えるよう取り組んだ。また、怪我・事故等に充分配慮しながら生産性・品質等を向上させると共に顧客満足度アップへつながるサービスの提供を行った。

利用者については20名(利用開始3名・退所1名)でクリーニング事業を実施した。事業収入は39,729,722円となり、前年度と比較すると0.1%程度の微減となった。(令和3年度 39,765,747円)

■聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘

老人福祉法及び関係法令並びに各種通知に基づき、利用者の自立支援のためのソーシャルワーク機能を強化し、利用者の生活意欲の増進等を図り、生きがいを持ち健全で安らかな生活ができるよう努めた。

個別型として、利用者一人ひとりの心身状態を考慮しニーズに応じた介護保険サービスの提供に努めた。

手話の普及と聴覚障害者養護老人ホームとしての役割については、手話条例推進会議に職員は所属しているが、令和4年度は手話講座講師等の派遣は町の手話推進員が対応したため依頼はなかった。

地域における公益的な取組みについては、情報収集は継続していたが検討には至らなかった。

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、利用者の社会参加の促進は十分に行えなかったが、家族や各関係機関と連携を図り、利用者の多様性に沿った伴走型の支援に努めた。

ひまわり荘において長年にわたる多数の待機解消を図るため、町と連携し、緊急性が高い方の受け入れを行った。

※個別型とは、利用者介護保険サービス事業者が個別契約を結び介護サービスを受けるもの。

①介護・生活支援部門

個別型として効率的なサービスを提供した。また、毎月支援員ミーティングやケア検討会議を開催し、サービスの適正を図った。

②看護部門

地域の感染状況に合わせ随時委員会を開催し感染症対策に努めた。感染予防のため、各施設の往来や面会制限、基本的な感染対策等を行い、感染症の発生は起きなかった。また、6月・12月に計2回ワクチン接種を行った。

■特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

令和4年度は新型コロナウイルス感染症が施設内で発生し、クラスターとなった時期が1ヶ月半あった。終息以降に新規入所に向けて取り組んだが、収入減となった。感染予防対策により家族との交流行事ができず、日常の行事も減っていたが、長寿の祝と誕生会を取り組んだ。

職員の育成については、WEB研修に参加し全職員に共有できるように行った

短期入所についても、感染対応期間中は新規受け入れを中止していた。

①介護・生活支援部門

利用者や家族の意向を計画に取り入れ、状態に合わせて計画を変更し、各利用者のニーズや状態に合った個別支援計画の作成に取り組んだ。

②看護部門

適宜状態観察バイタルチェックを行い、バイタルリンクを活用し医師と看護師の連携を強化した。必要に応じて医療機関の受診対応を行った。

■地域密着型特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底すると共に併設の特養のクラスターの時期に感染症対策の応援を行った。また、急な勤務変更や時間外勤務の対応により、職員の体調不良等で職員の定数配置と働きやすい環境整備、業務改善が十分に出来なかった。

利用待機者の減少より新規利用者の受け入れに、後れがあったため定数に満たない時期があり減収となった。

①介護・生活支援部門

ユニットでの少人数のケアを実践し、モニタリングを実施、適宜ケアプランを見直しケアプランに基づいたサービスの提供に努めた。

②看護部門

適宜状態観察とバイタルチェックを行い、バイタルリンクを活用し医師と看護師の連携を強化した。必要時に医療機関の受診対応を行った。

■訪問介護事業所 新得やすらぎ荘

①高齢者訪問介護事業

利用者の望む在宅生活が出来るように必要な援助を相談し、利用者が利用しやすい訪問事業所となるように努めた。また、自立支援・介護予防の視点で日々の介護サービスを行う事が出来た。新型コロナウイルス感染症予防については北海道全域で蔓延防止等重点措置の解除後、利用者家族を中心に往来が多くみられたため、予防のためのお願いを利用者へ周知しながら対応した。

また、書類のIT化は、職員へのアンケートなどを行い導入希望者が多数となったため、引き続き検討することとした。

②障害居宅介護事業

自立支援の視点に立ちつつ利用者本位のサービスに努め、対象の障害者だけではなくその家族とのかかわりへの配慮を含めた気配りも行うよう努めた。

■居宅介護支援事業所 新得やすらぎ荘

利用者の自立支援、状態の悪化防止のために、利用者と家族の意向を尊重しながら、専門職としての総合的なケアマネジメントを行い、ケアプランの作成、各サービス事業所等の連携を図り、適切なサービスが提供されるよう調整を行った。

新得町（地域包括支援センター）及び他の居宅介護支援事業所、関係施設等の連携を継続的に行うことで、当事業所への利用者の受け入れだけでなく、関連する法人内施設のサービスにも繋げた。

令和4年度は、新規利用者の受入を継続して行う一方、施設サービスが必要な利用者に対しては、養護・特養・地域密着特養に対し、積極的な紹介を行い、町外に行くことなく、住み慣れた新得町で生活を送れるよう支援を行った。

また、地域包括支援センターで抱える困難事例に対しても、引き続き新規受入を行い、合同で対応を協議するなど協力体制を維持することに努めた。

■日帰りサービスセンター やすらぎ荘

利用者が可能な限り居宅において自立した日常生活を継続できるよう、入浴および食事の提供、利用者が選択することのできる余暇活動の実施や生活動作に関連する機能訓練を実施した。

また、健康状態の確認やその他必要な日常生活の支援を行い、利用者の健全で安定した自宅での生活の助長、社会的孤立の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、利用者家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。

■清水デイサービスセンター やすらぎ荘

在宅生活の継続に向け機能訓練から生活行為力向上訓練までの総合的な支援を検討し、生活状況や興味・関心等を把握した上で計画を作成し、適切なりハビリテーションを提供した。

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に努めてきたが、当事業所でも職員又は利用者及び関係者の感染により、4月に4日、6月に1日、11月に2日、12月に1日の計8日営業を中止したが、幸いにもクラスター発生は防ぐことができた。

■日帰りサービスセンターやすらぎ荘 たんぼぼ

能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、生活などに関する相談及び助言、健康状態の確認その他必要な日常生活上の支援、機能訓練などのサービス提供を行った。また、安定した生活の促進、心身機能の維持向上を行った。

■屈足わかふじ園

法人の基本理念及び職員倫理綱領、行動規範を遵守、利用者の自立と人権の尊重を基本に、サービスの充実を図るよう努めた。

利用者への支援については、個別支援計画に基づき、利用者個々のニーズに応じた支援を実施し、定期的にモニタリングを行う事で支援内容の見直しや確認を行った。

各種イベントについて、きずなの郷まつりは新型コロナウイルスの影響もあり、今年度も地域の方や家族を呼ばずに利用者職員のみで規模を縮小して行った。また花見食事会や秋の味覚祭なども、感染防止の主旨を文章で発送し、これらも昨年度と同様に、利用者職員のみで行った。

外部からの慰問関係の受け入れは出来なかったが、大相撲やプロ野球の優勝予想、各棟でのレクリエーションを実施するなど、利用者を楽しんでもらえる様に努めた。

11月4日、職員1名が新型コロナウイルスに感染。その後利用者4名、職員5名が感染し、計10名の感染者が発生するクラスターとなった。そのため、施設内のゾーニングを行った他、法人内他施設から応援職員の派遣や必要物品の供給を受けるなどの協力もあり、11月23日にクラスターは収束した。

食事面については新たな取り組みとして、世界各国の料理を月1回提供した。その他、外注食や行事食、セレクトメニューなども、例年に引き続き提供した。

施設整備に関しては、電話設備改修のため、電話機の交換およびADSL回線から光回線への切り替え工事を行った。

①施設入所・生活介護

適宜モニタリング会議を開催し、計画の修正と見直しを行ってきた。支援計画の内容が確認しやすいように工夫し、日々の介護に反映するよう努めた。

②医療部門

体調不良者の病状や、コロナワクチン接種後の副反応症状、またコロナ感染者の病状など利用者の状態を常にバイタルリンクに入力し、医師の指示を受け、スムーズに対応できる様努めた。

■養護老人ホーム ひまわり荘

老人福祉法、介護保険法及び関係法令を遵守し、利用者の主体性と自立支援に配慮した個別支援計画並びに介護サービス計画書を作成し、計画に沿ったサービス提供に努め、必要時には関係機関や医療機関との連携を図り、より充実したサービスを提供するように努めた。

新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、利用者の意向に沿った十分な社会参加や地域交流等は出来なかったが、施設内で行える行事とクラブ活動の内容を工夫し、可能な範囲で余暇活動の機会を提供した。

感染症対策として日常の健康管理と施設内の消毒、手指衛生等を徹底し、施設内に新型コロナウイルスを持ち込まない対策をより一層徹底した。

利用者待機者への定期的な意向確認や待機状況等の情報提供を行うことで、不安や戸惑いなく円滑に施設利用ができるように努めた。

①介護・生活支援部門

利用者の身体及び日常生活動作の状態を適宜確認した。その際、利用者個々に合わせた個別援助を重視した上で、各種会議で検討して利用者が意欲的に自立促進に向けた生活が送れるような取り組みを行った。

②看護部門

毎日の検温と体調の確認及び状態観察を実施し、体調不良の内容は嘱託医へ報告と受診対応を行った。また嘱託医の指示に沿って、専門医へ受診も行った。

■訪問介護事業所 ひまわり荘

介護保険法令を遵守し、特定施設介護サービス計画書を基に利用者の生活環境、能力に応じた訪問介護計画書を作成し、利用者が有する能力に応じた日常生活を営む事ができるようサービス提供を行った。特定施設や他のサービス提供事業所と連携を密に取り合い、サービス内容の変更があった際は迅速に対応した。

また、利用者の生活能力の維持・向上につながるサービス提供や事故防止に努めた。

令和4年度決算報告

令和5年3月31日

財産目録

(単位：円)

資産の部		
科目	摘要	金額
流動資産		971,129,088
固定資産		5,095,015,113
資産合計		6,066,144,201
負債の部		
科目	摘要	金額
流動負債		138,390,803
固定負債		314,428,022
負債合計		452,818,825
差引正味資産		5,613,325,376

貸借対照表

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	971,129,088	流動負債	138,390,803
固定資産	5,095,015,113	固定負債	314,428,022
		基本金	14,500,000
		国庫補助金等特別積立金	2,910,915,607
		その他の積立金	833,837,900
		次期繰越活動収支差額	1,854,071,869
資産合計	6,066,144,201	負債純資産合計	6,066,144,201

事業活動収支計算書

科目	金額
介護保険事業収益	495,548,753
老人福祉事業収益	283,575,045
就労支援事業収益	219,181,431
障害福祉サービス等事業収益	720,852,762
生活保護事業収益	21,367,940
その他の事業収益	18,272,500
経常経費寄附金収益	14,623,450
その他の収益	55,716,000
受取利息配当金収益	23,309
その他のサービス活動外収益	16,372,931
施設整備等補助金収益	830,000
収入合計	1,846,364,121
人件費	1,078,124,996
事業費	302,684,444
事務費	240,316,286
就労支援事業費用	207,793,928
利用者負担軽減額	2,071,637
減価償却費	156,355,378
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 98,169,442
徴収不能引当金繰入	780,000
支払利息	626,172
固定資産売却損・処分損	1
国庫補助金等特別積立金積立額	830,000
支出合計	1,891,413,400
当期活動増減差額	△ 45,049,279
前期繰越活動収支差額	1,904,100,498
その他の積立金取崩額	34,020,650
その他の積立金積立額	39,000,000
次期繰越活動増減差額	1,854,071,869

資金収支計算書

科目	金額
介護保険事業収入	495,548,753
老人福祉事業収入	283,575,045
就労支援事業収入	219,181,431
障害福祉サービス等事業収入	720,852,762
生活保護事業収入	21,367,940
その他の事業収入	18,272,500
経常経費寄附金収入	14,623,450
受取利息配当金収入	23,309
その他の収入	16,372,931
施設整備等補助金収入	830,000
積立資産取崩収入	34,020,650
収入合計	1,824,668,771
人件費支出	1,039,810,996
事業費支出	302,684,444
事務費支出	240,316,286
就労支援事業支出	202,517,119
利用者負担軽減額	2,071,637
支払利息支出	626,172
設備資金借入金元金償還支出	9,948,000
固定資産取得支出	12,753,098
ファイナンスリース債務の返済支出	1,880,496
積立資産支出	39,000,000
支出合計	1,851,608,248
当期資金収支差額	△ 26,939,477
前期末支払資金残高	890,314,057
当期末支払資金残高	863,374,580

新得はなや様より バラの贈呈

5月13日、新得町内の新得はなや様（今村文昭社長）より、厚生協会へバラの切り花800本をプレゼントいただきました。母の日に合わせての粋な計らいは、今村社長と妻でフラワーショップ「新得はなやのはなやさん」の店長を務めるいづみさんからのもの。いづみさんは以前、わかふじ寮に勤務されており、その時の感謝を皆さんに示したいとのこと。また今村社長からは「日々を明るく気持ちで過ごしてほしい、皆さんに喜んでいただけたらうれしい」と利用者さんを労う言葉をかけていただきました。この800本のバラは1輪ずつ厚生協会の全施設の利用者さんと職員全員に贈られ、思わぬプレゼントに利用者さんたちはバラと共に色とりどりの笑顔を咲かせました。

わかふじ寮



▲いただいたたくさんのバラに
囲まれほっこり笑顔です

新得やすらぎ荘



▲素敵なお花をたくさん頂きました！

やすらぎ荘



▲はいピース！

地域新得やすらぎ荘



▲キレイだねえ～！！

ひまわり荘



▲いっぱいバラの花を持って

屈足わかふじ園



▲両手に花。お洋服も花柄で花
いっぱいです！

北海道フーズ様からの贈り物



▲荷台いっぱいのコロッケ、ありがとうございます。

6月23日、士幌町の株式会社北海道フーズ様（取締役社長田中秀明様）よりカニクリームコロッケをご寄贈いただきました。その数なんと5,600個！こちらはラインテスト生産での試作品のため無印包装ですが、コロッケ自体は市販品と変わらぬものとのこと。厚生協会全施設の利用者さん全員に提供させていただきました。皆さん大変美味しく召し上がっており、笑顔の食事風景となりました。北海道フーズ様、ご寄贈ありがとうございました。



▲カニクリームコロッケ、
いただきます！

ミャンマーからようこそ！

～外国人介護職員4名入職～



▲ようこそ日本へ、厚生協会へ！

法人では初となる外国人介護人材として、7月20日にミャンマーから4名の介護職員が入国しました。入国後は2日間にわたって、法人本部で辞令交付、転入に伴う各種手続き、生活面や仕事面での説明など、厚生協会で働くにあたっての様々な準備を行いました。

4名のうち2名は地域新得やすらぎ荘で、もう2名は屈足わかふじ園での勤務となります。慣れない環境で大変だとは思いますが、ぜひ、介護現場に新たな風を吹かせてほしいですね。

地域新得やすらぎ荘



サカー・ワー・キョウ
「緊張していますが、一生懸命頑張ります」



キン・ヤタナー・ウー
「日本語が上手ではないですが、よろしく願います」

屈足わかふじ園



イン・トゥエ・ポ
「利用者さんと話すことが楽しみです」



テッ・ニン・ピョー
「日本語が苦手ですが、頑張ります」

合同記事

地域貢献活動

～町内のゴミ拾いに草むしり～

私たち厚生協会は、日ごろから地元新得町を中心とした地域の皆様に支えられて運営をしており、少しでも地元へ恩返しをするべく、各施設が様々な形で地域貢献の活動を行っています。町民の皆様や、町を訪れる方々に気持ちよく過ごしていただけることを願って、今後も活動していきます。

屈足わかふじ園



▲屈足のメイン通りで草むしりです

やすらぎ荘



▲ゴミがたくさん集まりました！

合同記事

法人職員研修

～初任者研修(入職3年以下)～

7月21日に、入職3年以下の職員を対象とした初任者研修を行いました。

講師に、帯広信用金庫総務部人財サポート室推進役の芹澤理衣様、新得支店長の松岡様、新得支店長代理の土田様をお招きし、「接遇・マナー（一般常識）について」というテーマで研修を行っていただきました。

組織の中で一緒に働き目標を達成していくための、ビジネスマナーやエチケットマナー、正しい言葉遣い等の重要性について講義をしていただきました。研修は講師との対話を交えた形で行われ、受講した12名は、職場の中で信頼関係を構築するためにも「社会人マナー」の習得が必須であることを学びました。



▲真剣に講義を聞いています



▲接遇の基礎を身につけていきましょう！

合同記事

お花見そして食事会

～きれいな桜を見て、ジンギスカンを堪能～

4月下旬に各施設でお花見に出かけました。わかふじ寮、新得やすらぎ荘は新得神社山や狩勝高原に行き、ひまわり荘はサホロ川公園、屈足わかふじ園は屈足公園へ行きました。ちょうど桜が満開で天気も良く、絶好のお花見日和になりました。

今年は新型コロナウイルス5類への移行後に食堂で久しぶりのジンギスカンを堪能していただくお花見食事会を開催しました。食事中の利用者の皆様の嬉しそうな顔を拝見すると、ようやくコロナ禍前の施設生活に戻りつつあると感じました。

地域新得やすらぎ荘



▲ジンギスカンおいしいよ

ひまわり荘



▲サホロ川公園を散策

新得やすらぎ荘

職員クローズアップ

～新得町権利擁護ガイドブック作成に職員が協力！～

新得町権利擁護推進協議会で発行した「みつけてつなぐ ～新得町権利擁護ガイドブック～」に、新得やすらぎ荘の渡邊紗由里介護員が挿絵の協力を行いました。

ガイドブックは「権利擁護をわかりやすく伝える」という目的で製作され、各相談窓口で活用される見込です。



▲イラスト作成に協力しました！

わかふじ寮 第55回全道ろうあ者夏季体育大会in新得開催!

7月1日(土)～2日(日)、全道ろうあ者夏季体育大会が新得町で開催されました。「全道のろうあ者がスポーツを通じて心身を鍛え、積極的な社会参加を推進し、その福祉の向上に寄与すること」を目的とした本大会はコロナ禍での中止などがあり4年ぶりの開催となりました。新得での開催は4度目になり今年は釧路と新得に分かれて各競技が行われました。

新得町ではパークゴルフに56名、フロアカーリングに26名が参加して競技が行われ、わかふじ寮からも利用者6名が各競技に参加しました。久しぶりの大きな催しとあって、和気あいあいとした雰囲気の中で競技を楽しんでいました。この2日間を通して全道各地の選手の皆様と久しぶりに交流を深められた有意義な大会となったようです。最後に来年の開催地である千歳市の実行委員の皆さんにエールが送られ閉会となりました。



▲浜田新得町長、手話で歓迎のご挨拶



▲練習熱心だった皆さん



▲ホールインワンかも!?



▲逆転を狙って一投!

やすらぎ荘 健康学習会
～自分らしく健やかに過ごすために～

やすらぎ荘では6月上旬に健康学習会を行い、今回は栄養士の協力のもと「水分」と「運動」をテーマに実施しました。

水分面では、分かりやすく理解していただくために主にポスターを用いて、水分が不足すると体にどのような影響を及ぼすのかについて説明しました。水分は毎日こまめに摂ることが大切です。

運動面では、利用者の皆さんが普段座りながらも簡単にできる体操を一緒に行い、また、今回取り組んだことをいつでも見直せるようにとプリントを配布しました。皆さん意欲的に参加されていました。これからも利用者の皆さんが生き生きとした生活が送られるよう、定期的に企画していきたいと思えます。



▲お勉強中です



▲みんなで体を動かそう



▲体を鍛えるぞ!

屈足わかふじ園 One Man Digital Orchestra
佐藤春美オールスターズ演奏会
～多種多様の楽器を演奏～

6月30日に佐藤春美さんの通算10回目の演奏会を行いました。

佐藤さんは陸上自衛隊第5音楽隊のサクソ奏者としてご活躍をされておりましたが、定年を迎えられ退職後からは、サクソ教室・作曲・レコーディング・CD作成などを業務とする「佐藤春美ミュージックプランニング」を設立し、今日に至っております。

令和2年10月の演奏会以降、コロナの影響で開催できませんでしたが、この度3年振りに行うことができました。また今回は佐藤さんの生徒さんも同行し、共に演奏されるなど演奏会に花を添えていただきました。

『名探偵コナン』から『演歌メドレー』など、利用者の世代に合わせた曲の他に、この日が誕生日だった利用者さんへ「Happy Birthday」をサプライズで演奏していただきました。

トークを交えて1時間ほどでしたが、利用者・職員共々拍手が絶えず、あっという間に時間が過ぎた演奏会でした。来年もぜひよろしくお願いいたします。



▲あっという間の1時間でした



▲誕生日の利用者さんと記念撮影

ご寄付・ご寄贈ありがとうございました

令和5年3月から
令和5年6月まで(敬称略)

【本部】

新得町 (株)田村工業
滝口 文子
泉澤 勝代
斎藤 芳幸
疋崎 久子
竹浦 隆
芽室町 甲山 ちえみ
池田町 水上 登
帯広市 福田 實
藤井 由美子
美瑛町 渡部 広子
砂川市 渡辺 律子
小樽市 金子 和令
函館市 岩崎 友樹
山口県柳井市 浜田 英之

【わかふじ寮】

札幌市 ワタキューセイモア(株)
登別市 藤沢 英明
小樽市 金子 和令
標茶町 大山 敏宏
新得町 新得町社会福祉協議会
士幌町 (株)北海道フーズ

【屈足わかふじ園】

新得町 若杉 由香
野々村 勇夫
中村 清吉
音更町 野々村 弘子
大倉 盛男
幕別町 鈴木 敏勝
上富良野町 浅井 福夫
池田町 小川 義成
帯広市 福田 實

帯広市 佐藤 重雄
札幌市 上林 絵里奈

【ひまわり荘】

新得町 千葉 昭一
春木 俊雄
鈴木 和雄
渡辺 和雄
帯広市 太田 明子
藤井 由美子
清水町 柴田 一美
三上 智子
渡辺 美加子
芽室町 甲山 ちえみ
札幌市 柴田 龍治
鈴木 睦
丹羽 静子
小川 竹志
釧路市 清水 京子
富山県 太田 志江
埼玉県 本田 智
東京都 伊藤 利博

【やすらぎ荘】

新得町 高杉 政子
高杉 純江
清水町 佐藤 幸江
大留 みより
帯広市 神成 裕二
池田町 水上 登
日高町 佐々木 茂
美瑛町 渡辺 広子
富良野市 岩崎 幸子
札幌市 大江 啓二
大江 濯也

苫小牧市 佐藤 春市
釧路市 本城 容子
北原 民枝
函館市 岩崎 友樹
秋田県 佐藤 孝弘
宮城県 内海 雅子
京都府 石垣 とし子

【新得やすらぎ荘】

千葉県 辻 小百合
石狩市 近江 豊江
札幌市 永野 あすか
富士 博
坂井 孝行
砂川市 渡辺 律子
帯広市 大亀 勉
石原 尚登
南 尚登
伊藤 英雄
音更町 菊池 博美
芽室町 後藤 幸雄
清水町 新國 昭男
新得町 永野 かず
泉澤 勝代
疋崎 久子

【地域新得やすらぎ荘】

石狩市 竹澤 孝一
札幌市 堀尾 美由起
北見市 竹田 よし子
新得町 山本 要
児玉 武
滝口 文子
小笹 さち子

社会福祉法人厚生協会では、法人の情報をホームページで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けていますのでご利用ください。

厚生協会ホームページ

<http://www.wakafuji.or.jp>

厚生協会E-mailアドレス

wakafuji@netbeet.ne.jp (わかふじ寮)
yasuragi@rainbow.ne.jp (やすらぎ荘)
wakafuji@rose.ocn.ne.jp (屈足わかふじ園)
himawari@bb.rainbow.ne.jp (ひまわり荘)
ssh5209@khaki.plala.or.jp (新得白生舎)

この広報誌の中で使用させていただいている利用者の顔写真等は、すべてご本人の了承をいただき、掲載しています。

編集後記

5月に新型コロナウイルスの類型が2類から5類に変わりましたが、管内における感染の流行は、依然として収束したとは言えない状況です。法人内各施設では引き続き万全の感染対策をとりながらも、各種行事やレクリエーションなど、可能な限りコロナ前と同様に行えるよう取り組みを進めています。

数年振りに再開した行事や外出などの様子は一部、今号に掲載しておりますが、今後も本誌「きずなの郷」を通して、利用者様の笑顔をたくさんお届けできればと思います。

(株)相馬商店様でわかふじクラフトを販売



この夏から町内の(株)相馬商店様にて、わかふじクラフトの委託販売をして頂いています。

昨年11月から勤務されている「町おこし協力隊」の斉藤涼さんがディスプレイを担当。商品とともに製品製作の様子やわかふじ寮の紹介もして頂いています。かわいい手書きのポップで商品の魅力をわかりやすく紹介。見て触って楽しいコーナーになっています。フェイスブック、インスタでも紹介していただいていますのでぜひご覧ください。〈相馬商店のWebSite <http://www.soma419.jp>〉

町内のレイクイン様・そばの館様・bakerykijima様でも委託販売をして頂いていますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。